

第51回高校一般剣道大会 参加者心得
(新型コロナウイルス感染症対策)

- ◎ 来場する全ての方は、大会当日、家で必ず検温を行い、発熱の場合や風邪症状のある場合は自宅で安静待機してください。当日、会場に入る際に検温を実施します。37.5度以上の体温がある方や平熱であっても直近一週間以内に風邪症状のある方は大会に参加できません。全ての参加者はこの参加条件を厳守してください。

- ◎ 選手は「関係者確認票」を忘れずに持参してください。家を出る時から必ずマスクを着用してください。着替えは原則自宅で済ませてください。やむなく会場内の更衣室を利用する場合は、密を避けて交代で使用してください。

- ◎ 大会会場の館内に入場できる方は**1団体につき監督1名と付添者3名まで**とします。ただし、1団体の参加者数が3名未満の場合は選手1名につき付添者1名といたします。監督及び付添者は必ず「関係者確認票」を持参してください。家を出る時から必ずマスクを着用してください。

- ◎ 選手及び監督、付添者は体育館入口で「関係者確認票」の提出、手指の消毒及び検温を済ませたら、2階観覧席に移動し待機してください。各団体の代表者1名は2階観覧席受付にお越しくください。観覧席では隣と一席空けて座り、密にならないように留意してください。

- ◎ 試合前及び試合後に、手洗い、アルコールによる手指の除菌を行ってください。なお、靴を入れる袋を持参して、靴の管理を各自で行ってください。

- ◎ 選手は試合を行う時に面マスク及びシールドを必ず着用してください。面マスクは鼻を覆うように装着してください。

- ◎ 選手は鏝ぜり合いを避けてください。やむを得ず鏝ぜり合いになった場合は一呼吸内に分かれるか引き技を出し、掛け声は出さないでください。(技の発声は認めます)

- ◎ 所属する団体の全員の試合が終了しましたら、速やかに会場施設から退館するようにご協力をお願いいたします。

- ◎ 体育館内（観覧席）での昼食は禁止としますので、高校男子の部・一般男子の部に参加する皆様は昼食を済ませてご来館ください。

以上

第51回高校一般剣道大会

試合上の注意事項

- 今大会の試合は、3分三本勝負で行います。
- 試合時間内に勝敗の決しない場合は、引き分けとします。勝者数、取得本数がともに同数の場合は、任意の選手による代表者戦を行います。代表者戦は、2分一本勝負とし、時間内に勝敗の決しない場合は延長戦を2分ごとに区切って行います。3回延長戦をして勝敗の決しない場合は、3分間の休憩時間を設けます。(水分補給可)
- 試合者は、必ず面マスクおよびシールドを着用すること。
- 面マスクは、必ず鼻を覆うように装着すること。シールドに関しては、口を覆うものを必須とし、目を覆うものは自由とする。
- 試合者は、鏝ぜり合いを避けること。接触した瞬間の引き技や体当たりからの技は認めます。鏝ぜり合いになった場合、技が出ない時は試合者自ら積極的に分かれてください。審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく、試合者双方で分かれる努力をしてください。
- 鏝ぜり合いの解消に至る時間はおよそ「一呼吸」とする。
 - ※分かれる場合は、お互いの剣先が完全に触れない位置まで下がること。
 - ※分かれる場合は、剣先を開いたり、下げて分かれにくいこと。
 - ※鏝ぜり合いを解消する場合は、双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、鏝と鏝を押し合う力を利用して一気に下がること。
 - ※分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしないこと。
- 分かれる際、相手だけに下गरらせて自分が下がる行為は反則です。
- 分かれる相手に対しての引き技は有効打突になりません。
- 一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する行為や、分かれようと見せかけて引き技を打突する行為は反則の対象です。
- 意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近する行為は反則です。

剣道試合・審判規則第1条「公明正大に試合をし」
に反する行為は反則です。